

<仙台国税局長賞>

税について

福島市立福島第四中学校

3年 佐藤 光毅

平成23年3月11日午後2時46分、千年に一度と言われる東日本大震災が起こった。福島第一原発事故により、放射能の影響を受けた。この震災は、当時小学5年生だった僕からたくさんものを奪っていった。これからの生活はどうしたらいいのか、多くの不安があった。

あの日から、3年と半年が経とうとしている。今では、不安も少なくなり、少しずつではあるが、復興に向けて走りだそうとしている。僕の不安を取り除いたのは、税金の力が大きかったことを僕は最近知った。税金と聞いて、否定的な考えしかなかった僕はこの震災をきっかけに税金に興味を持ち、もっと税金について知ろうと思った。

東日本大震災で「東日本大震災経費」という新たな経費ができた。この経費は、被災地の復興のために使われている。具体的には、仮設住宅の建設・賃貸、がれきなどの処理、河川・海岸・道路・港湾・下水道などの整備、中小企業等の事業再建、除染などに使われている。その経費費用は、平成23年度から平成24年度までで18.9兆円にもなる。こんなに多くの費用が被災地のために使用されていることを知り、とても感動した。また、自衛隊員や消防隊員、道路や下水道などの整備の人、仮設住宅を建設する人などたくさんの人々が命がけで働いていることに感謝し、尊敬している。そういう人々にも税金で給料が支払われている。税金はとても便利で身近なところでも使われていて、実用性のあるものだとは僕を感じた。僕は、税金は日本中の人々を幸せにできる特別で大切なものだと思う。

これまで僕は、税というものを深く考えずに生きてきた。だが、この震災を通して、税について調べるにつれて、自分が何も考えずに生きてきたことがはっきり分かった。また、税に対するイメージも180度変わった。税金が上がることに理由もつけずに反論や文句を言っていた自分がとても恥ずかしく感じた。しっかりした理由があったから、税金が上がったことが分かり、納得した。自分が納めてきた税金が、自分の生活をより良くしていることを実感した。税とは、特別で日本中の人々を幸せにできるなくてはならない大切なものだと認識した。

僕は、税金について知り始めたばかりだけれど、税金の大切さを日本中の人々に知ってもらえるように努力したいと思う。この震災でたくさんの影響を受けたが、自分がこうして成長できたのも税金のおかげだと思っているので、将来は自分も税金で力になればと思う。たくさんの人々に感謝し、恩返ししたいと思う。たくさんの人々が毎日笑顔で楽しく生活できる世界を目指して行きたいと思う。税に感謝し、福島復興・被災地の復興・日本の復興を実現するために自分が先頭に立って進んでいきたいと思う。